

英語
書籍講座

読解講座
基本

ベーシックコース
テキスト
第1分冊

USパテント読解講座

ベーシックコースの開始にあたり

このベーシックコースは、「USパテント読解講座」の基礎篇として構成されていますが、同時に、英語の読み書きへの、独立した「再入門」のコースとしても存在しています。

「再入門」としたのは、これまで学校で、少なくとも6年間、英語を習ってきた人を対象にしたのベーシックコースであるからです。

この講座編成の基本的な考え方は、「読むこと」が外国語修得の基礎であること、そこから聞き取ること、更には自分で表現する(書く/話す)へ展開して行ける、ということにあります。

このコース修了後は、アドバンスコースとして、Eラーニング(Web上での講座)で「USパテント読解講座」が用意されています。ここでは、このベーシックコースの延長線上での、より踏み込んだ理解のためだけでなく、「表現する」支援を主眼において、自分で表現する上で利用できる「文章の形」の観点からコースが編成されています。

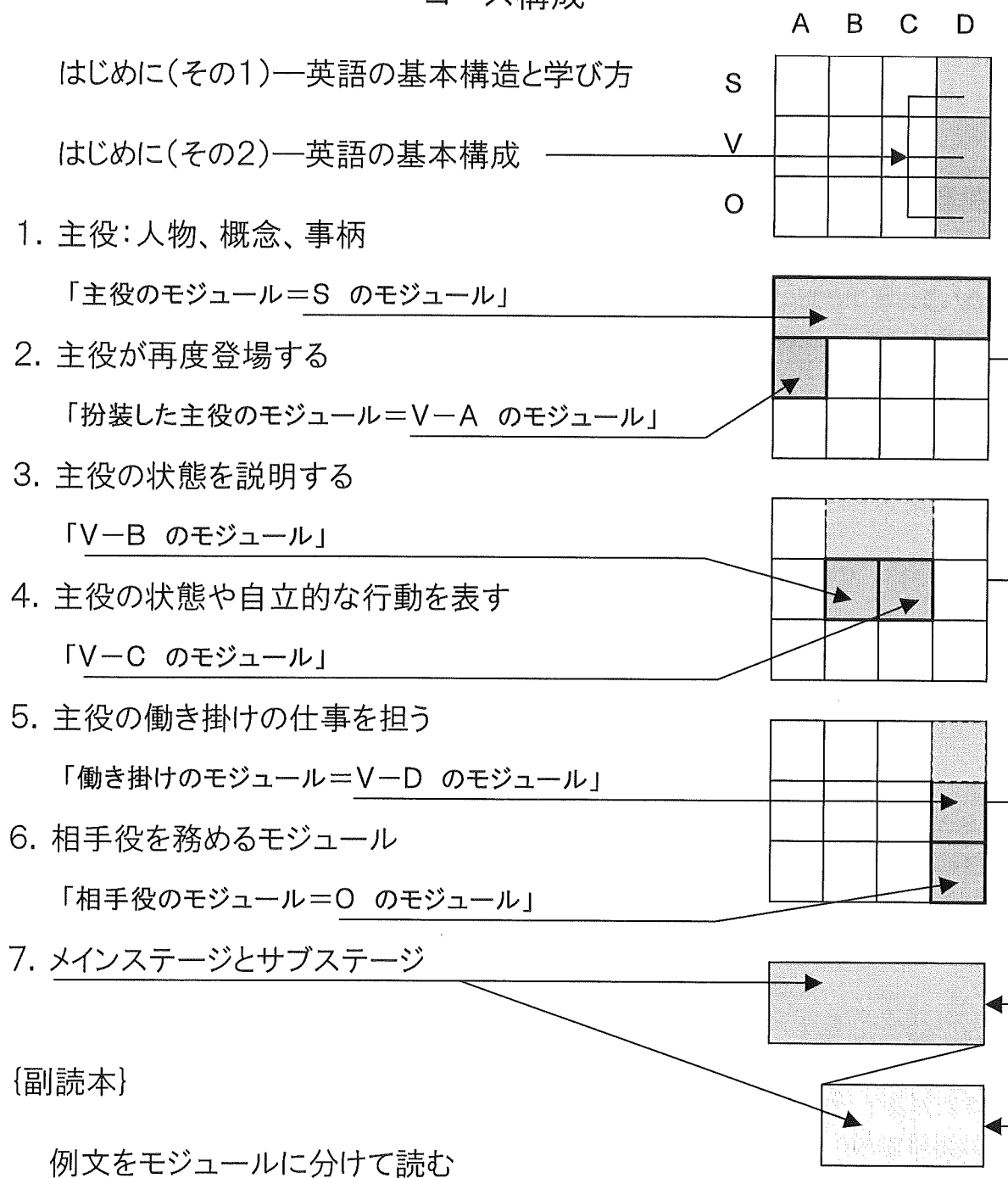
例文は、このベーシックコースでも、米国特許庁が公表している特許(パテント)文書を利用させていただきました。但し、ベーシックコースですから、もちろん、パテント文章に特有のものは採択していません。「発明の背景」など、一般的な記述から選び、例文としています。パテント文章は、その性質上からも極めて論理的に記述されていますので、技術関係の教材としては最適であろうと思っています。

コースの構成を次ぎのページに示します。

英語は極めて構造的に構築されており、役割から見ると、三つのモジュールに分けられます。各モジュールには必ずメインである「キープレイヤー」が存在し、その他は、そのキープレイヤーを補佐する「サポーター」で、これが英語の構成要素の全てです。また、文の型から見ると、四つの型に大別できます。役割と型を組み合わせると、コースが構成されています。

このベーシックコースでつかんで頂きたいのは、「英語は簡単である、英語は日本語と随分違って面白」ということです。母国語を、その文化の中で幼児期から修得していく場合と異なり、外国語を修得するには、その基本構造を頭で理解しておくことが大事と思います。もちろん、身体で覚えるという、言語の修得に特別の才能がある人はその限りではありませんが、

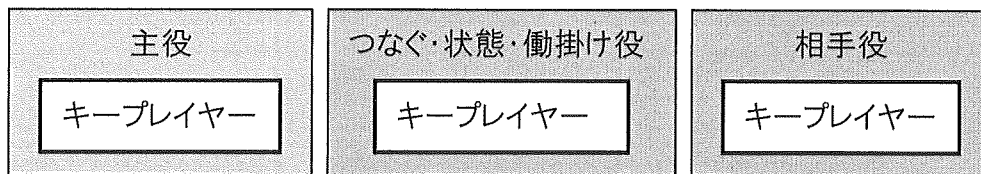
コース構成



(5) キープレイヤーが必ず居る

「キープレイヤー」

「三役」の中には、必ず中心人物が居ます。これを「キープレイヤー」と呼ぶことにします。



* サポーターグループが、「SVO」を含む大きな団体の場合、そこにも「プレイヤー」が存在します。これらはサポーター団体の中のプレイヤーなので、「サブプレイヤー」と呼ぶことにします。

(6) サポーターにお呼びがかかる

「サポーター」

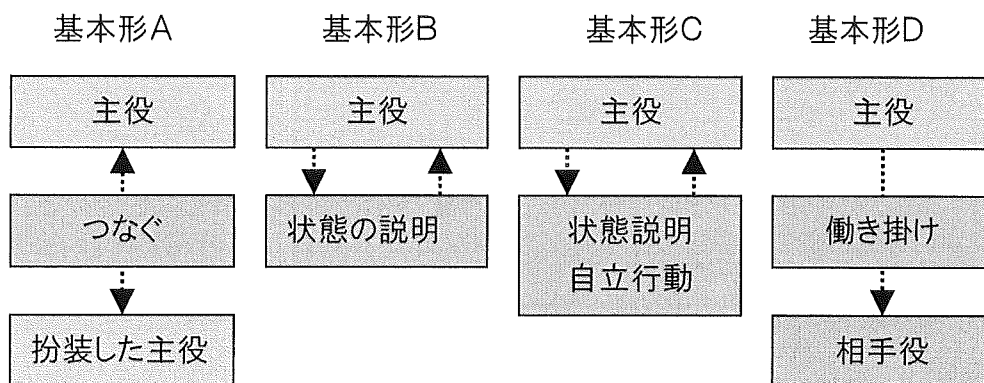
「三役」がそれぞれ自分の役割を果たす上で必要な場合は、支援者が呼ばれます。この支援者を、この講座では「サポーター」と呼びます。サポーターは一人(単語)の場合もあれば、何人も集まってグループを形成している場合もあります。

* 「サポーター」は文法書で「modifier: 修飾する者」、つまり、キープレイヤーにくっついて、「誰が、いつ、どこで、何を、何の目的で、なぜ、どのように」を具体的に説明したりしてサポートします。

(7) 相手役がない場合がある

「基本形」

「相手役」がない場合も数多くあります。この講座では、それぞれのケースを4つの基本形に分けて確認して行きます。



(8) メインステージとサブステージが有る

「ステージ」

一つの文章の中で何組もの「三役」(又は二役)が、それぞれの主題を掲げて活躍している場合があります。それぞれが活躍する場所を舞台に見たてて「ステージ」と呼ぶことにします。更に、掲げている「主題」が中心主題かどうかで、「メインステージ」と「サブステージ」に分かれます。



どのようにして英語を使う能力を向上させるか

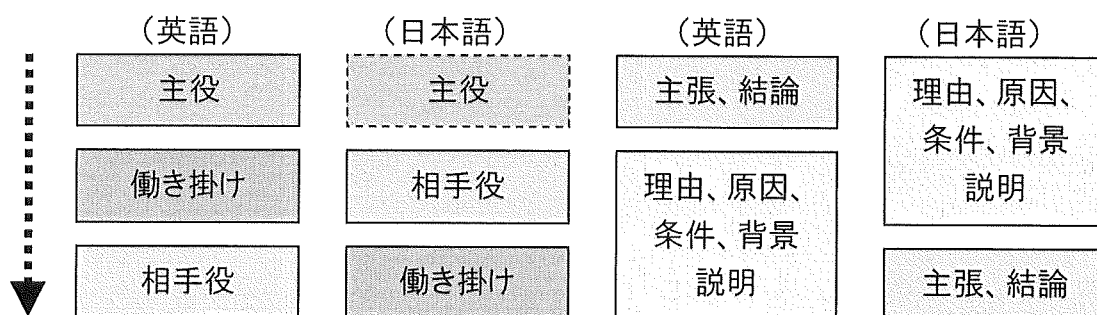
はじめに 1

(1) 記述の流れのとおり内容をつかんで行く

「記述の流れ」

英語が書かれている順序にしたがって、あるいは話される順序にしたがって、内容をつかんでいく事が基本です。日本語とは記述の順序が大きく異なるので、決して「英語を日本語に変換する＝和訳」をしないでください。

* 記述の順序が違うので、英語文章を日本語文章に(頭の中で)変換して読んだり聞いたりすることは、「絶対」避けるべきです。構造が正反対に近いほど異なる二つの言語の間を行ったり来たりすることは、バイリンガルの人でもない限り不可能と思われます。また、英語を日本語に移し変えて内容を理解している限り、こちらから英語で表現する(書く、話す)能力は身に付かないと思います。

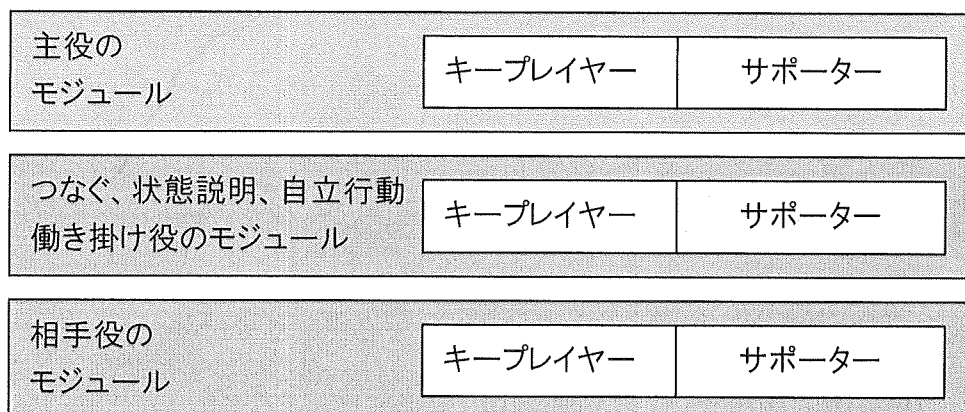


(2) モジュールに分けて読む、そして表現する(書く／話す)

「モジュール」

記述の流れのとおり読むためには(聞くためには)、三役それぞれを意識し、それぞれの役割を持ったかたまりとして捉えます。このかたまりを「モジュール」と呼ぶことにします。英語の場合には、一部の例外(受動態など)を除いて、必ず主役→状態／働き掛け→相手役の順で登場してきますから、それほど難しいことはありません。

長い文章の場合は、そのモジュールの中がキープレイヤーといくつものサポーター群で構成されていますから、必要に応じて「サブモジュール」に分けて読んで行きます。自分で表現(書く／話す)する能力を向上させる上でも、このモジュール分けが極めて有効なやり方になります。



(3) キープレイヤーを見極める

「キープレイヤー」

それぞれのモジュールの中のメイン、すなわちキープレイヤーと、サブ、すなわちサポーターを素早く見極められるようにします。キープレイヤーとは、それぞれのモジュールにおいて、「主役」の中の主役(ボス中のボス=ゴッドファーザー)、状態の説明や働き掛けを担当している中心の「動詞」(ボスの片腕)、及び「相手役」の中の本当の相手(Object)です。

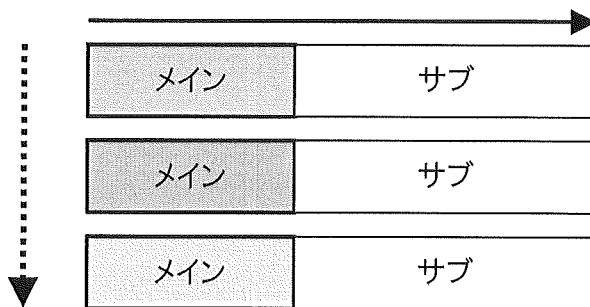
- * キープレイヤーの単語の意味がわからない場合は辞書の助けを借りる手間を惜しまないでください。その一方で、サポーターの意味がわからなくとも文章の大意はつかめますから、わからない言葉に出会っても暫らくは放って置きましょう。たくさんの文章に接することが大事ですから、サポーターなどにいちいちかまっていられません。

(4) リズムカルに読む／聞く

「リズムカルにメインとサブを」

モジュールを意識しながら、その中のキープレイヤー(メイン)とサポーター(サブ)を見分け、或いは聞き分け、またステージを意識しながら、メインとサブを見分け／聞き分けながら、リズムカルに読む／聞くことが大事です。

- * 例えば、話される場合には、「つなぐ-状態説明-自立行動-働き掛け役」の「キープレイヤー」のところでは一呼吸区切って話されるのが普通です。また、全体に渡ってメインの部分は大きな声で、明瞭に、少しゆっくり話されるようです。この大事なところを聞き漏らされては困るからです。

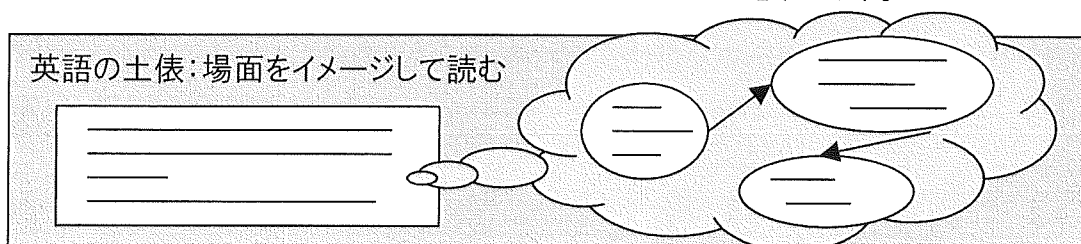


(5) 英語の土俵を離れない／内容をイメージしてつかむ

「英語の土俵」

書かれている／話されている内容を、できるだけ日本語に変換しないで、構造図式や場面を頭の中で描きながら読む／聞く訓練を重ねることが大事だと思います。

- * 日本語という構造に置き換える／翻訳することをしますと、手間ですし、特に聞く場合はそんなことをしていると置き去りにされてしまいます。それ以上に問題なのは、一度日本語の世界に置き換えてしまうと、次ぎに英語の世界にまた切り換える(日本語から英語に翻訳する)のは大変な手間になってしまいます。「会話」が苦手というのは、この置き換えをしているためではないかと思われます。



(6) 単語それぞれの機能上の分類は傍らに置いておく「単語の機能分類？」

形容詞、副詞、前置詞、等々の機能上の分類は知らなくてもOKです。(知っているならそれは結構ですが)。我々が母語である日本語で書いたり話したりするときに、いちいちこの言葉は名詞だ形容詞だなどと意識していないように、大事なものは、基本構造さえ理解すれば、後は実際に水に飛び込んで手足を動かすことです。

* 但し、名詞と動詞は二大品詞ですから、見極められないと困ります。

前置詞	形容詞	名詞	名詞	助動詞	動詞	副詞	形容詞	名詞
名詞	関係代名詞	助動詞	動詞	前置詞	現在分詞／名詞	前置詞		
名詞	前置詞	形容詞	形容詞	名詞				

* これは、この講座で利用させてもらっている例文の一つを、品詞に置き換えて配列したものです。なんだか解剖実習のような感じです。* 上の文章で含まれていないのは、「接続詞」、「代名詞」。

ベーシックコースのねらい

このベーシックコースのねらいは、まず、英語の構造は単純であることを理解し、同時に日本語とひどく違うことを再認識して、世界には面白い構造のコトバもあるものだ、と興味を持ってもらうことにあります。

興味を持っていただければ、次ぎのアドバンスコースに進んでもらうか、或いは、「OK、もうわかった」、と後は自分でドンドン生の英文を読んで行ってもらおうかです。

水泳を習うには、畳の上であれこれ泳ぎ方を真似しているのではなく、まず水に飛び込むことです。野球を楽しむには、最初にルールを習うのではなく、まずキャッチボールをやることです。バットでボールを打ってみる事です。その意味から、これはベーシックコースですが、例文は現実の特許文書から採択させてもらっており、まさに実戦用です。足が届くプールでバチャバチャやっても泳ぎは進歩しません。

このコースで身に付けたいことは次ぎの三つです

- (1) 英語の記述の流れのとおり内容をつかんで行く。(日本語文章に変換しない)
- (2) 「モジュール」に分けてそれぞれの内容をつかんで行く。
- (3) メインとサブを常に意識し、「モジュール」の中の「キープレイヤー」を素早く見分け、文章の大意をつかむ。

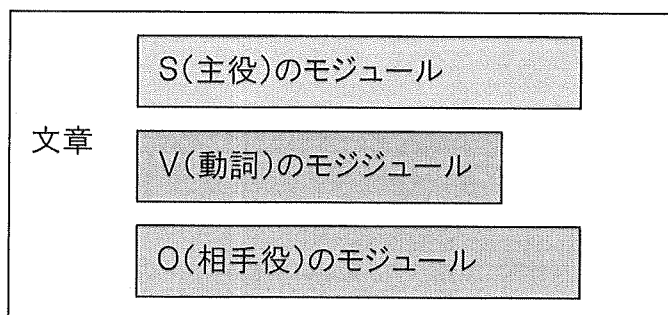
モジュール(module)について

モジュール

この講座では、英語(英文)の構造を説明するのに、「モジュール」という概念を使っています。ここでいう「モジュール」は、ある役割、あるいは機能を果たすために集まった一つの集団を指します。さらに、その役割を果たすには、単独ではできず、他の「モジュール」と密接に連携して、はじめて可能になります。

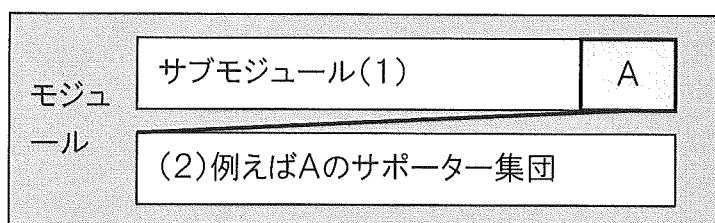
(1) モジュール

一つの文章を構築するために、複数の「モジュール」が集まっています。



(2) サブモジュール

一つのモジュールが、その役割を果たすために、複数のサブモジュールで構成されている場合があります。結果として、大きな集団を形成することにもなります。このサブモジュールは、特定の機能だけを果たす比較的小さな集団で、機械構造ではこのサブモジュールを「コンポーネント」と呼ぶこともあります。



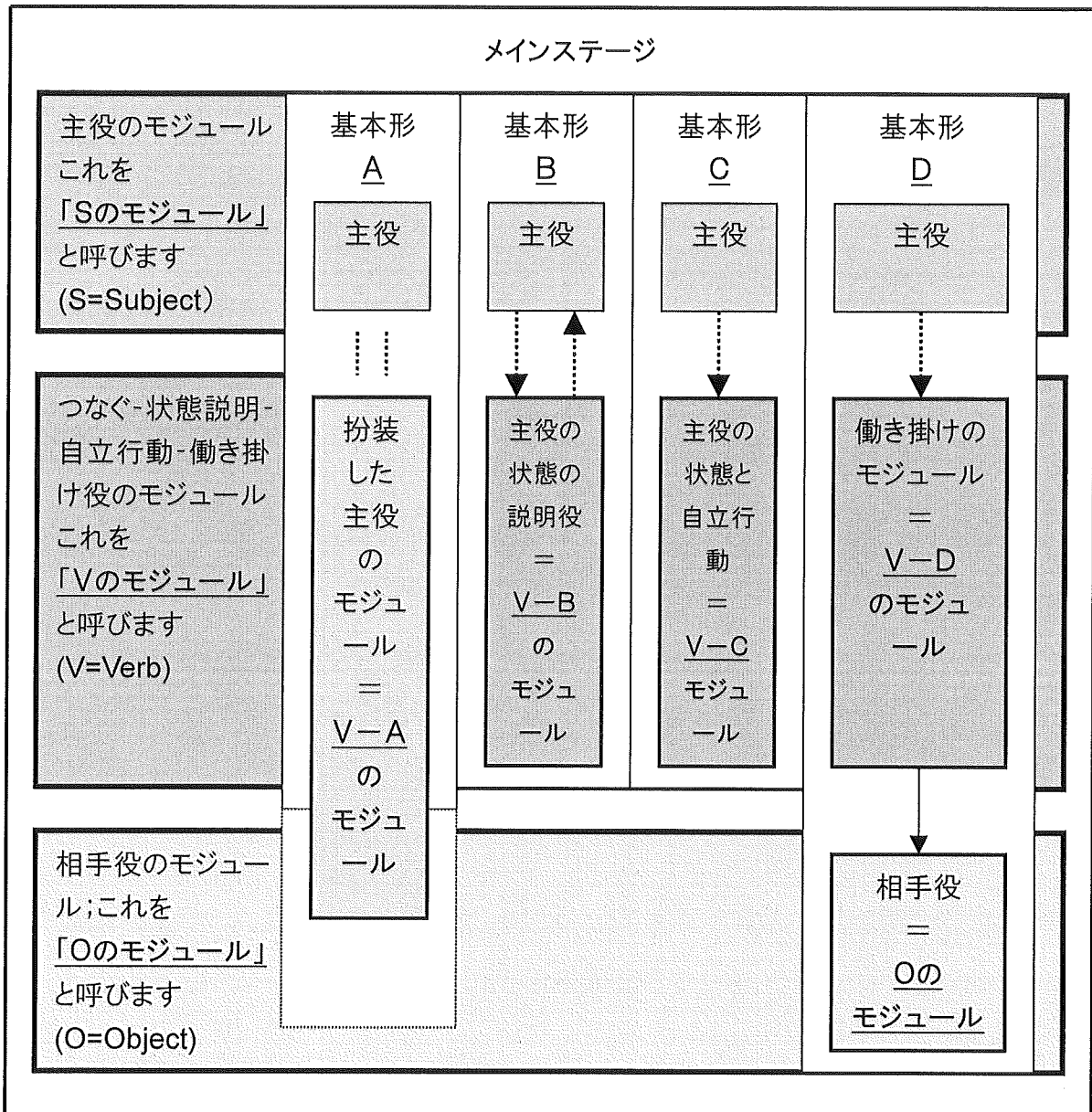
(3) パーツ/単語

モジュール/サブモジュールを構成する最少単位は「パーツ/部品」です。これが「単語」にあたります。パーツには、「意味」と果たすべき役割を持っているものと、意味を持たず、パーツとパーツの間、モジュールとモジュールの間をつないだりする機能だけを持ったものがあります。

large	computers	utilized	by	businesses
大きいという 意味を持つ てサポート	事物そのもの の意味を表現	元の動詞の 意味を持つ てサポート	自身では意 味は持たな い	概念そのもの の意味を表現



構造図と呼称を下に示します。



- 第1章：「S のモジュール」
- 第2章：「V-A のモジュール」
- 第3章：「V-B のモジュール」
- 第4章：「V-C のモジュール」
- 第5章：「V-D のモジュール」
- 第6章：「O のモジュール」
- 第7章：ステージ

サブステージ

はじめに (その2)

「三役」で肩慣らし

長い文章、一見複雑な文章も、キープレイヤーだけ集めれば、3個の単語で成り立っていることがわかります。

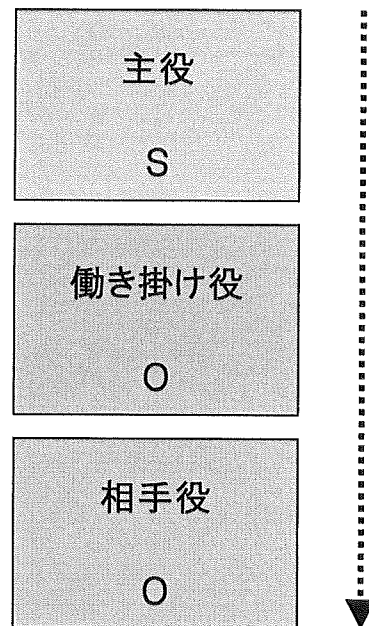
「はじめに(その1)」で述べられていることを確認しながら、肩慣らしを兼ねて、幾つかの文例を見ていくことにします。

太字(ボールド)の単語がキープレイヤーです。
「a」「the」「and」、他太字以外はサポーターです
英文の下線は、三役の区分けを示しています。

下に、英文単語に対応する日本語単語をつけてあります。内容を理解する上での補助です。
間の「/」は単語あるいはモジュール間の区切りを示しています

日本語(日本文)との順序の違いを意識してください。
下線が付いている日本語は、太字の英語(単語)＝キープレイヤーに対応しています。

例文の後半に、コースの先へ向けて、少し厄介そうな文章を練習として付けてみました。



1.

The invention increases the flexibility.

発明(は) / 増す / 柔軟性(を)

2.

Many people obtain and produce information.

多くの人々は / 手に入れる / また / 生み出す / 情報(を)

3.

The turning maneuvers require more space.

方向転換操縦(は) / 必要とする / より広い面積(を)

4.

The Internet provides a platform independent infrastructure.

インターネット(は)／提供する／プラットフォームに依存しない基盤(を)
The Internet provides a infrastructure.

5.

The emergency call system contains a navigation unit.

緊急通報システム(は)／含む／ナビゲーション装置(を)

The system contains a unit.

6.

The video images with oversteer targets assist the pilot.

ビデオ映像(は)／大回りすぎた対象(を映し)／支援する／パイロット(を)

The images assist the pilot.

7.

which avoids this disadvantage

(それは)／避けた／この不利な点(を)

* 長い文章の中から、「which」以下の部分を抜いてきたものです。

* 「which」はその前の言葉を代行して、ここでは「主役」の座に収まっています。

8.

that connects geographically dispersed users and applications

(それは)／接続する／地理的に散在しているユーザーとアプリケーション(を)

The infrastructure connects users and applications.

* 例文(7)と同じように、「that」が「主役」を代行しています。この文章は上記(4)の続きで、「that」以下は直前の「infrastructure」のサポーターです。

9.

The system includes at least one, and preferably several, cameras.

システム(は)／含む／少なくとも1台の／望むべきは何台かの／カメラ(を)

The system includes cameras.

10.

Many large corporations own thousands of individual computers.

多くの大規模企業(は)／所有している／何千という個別のコンピュータ(を)

The corporations own computers.

* 日本語についている()は、英文では「記述内容」としての意味を持たないもの、あるいは読解上の補助として付けたものです。

練習(第1回): キープレイヤーを見分ける

三役

以下の例文の「三役」それぞれのキープレイヤーを、上の例文にならって、丸で囲んでください。
答えは次ぎのページにあります。

11.

that meets these desires

(それは) / 合致する / それらの要望(に)

12.

Consumers see that adequate software is available for the computer.

消費者(は) / 理解する / (それを) / 適切なソフトウェア / が / 入手可能である / コンピュータ(用の)

13.

Making electronic information as handy as paper requires an interaction model.

作ること / 電子情報(を) / 紙と同じように手軽に / 必要とする / 相互作用(できる) モデル(を)

14.

This can require substantial investment of time.

これ(は) / 必要とすることになるう / かなりの投資(を) / 時間に対して(の)

15.

Some vehicles may include a device to clean the windshield wiper blades.

ある種の車(は) / 含むだろう / 装置(を) / 清掃するための / 窓ガラスワイパーの刃(を)

(第1回)解答

三役

* キープレイヤーは太字で示されています。なお、三役それぞれの範囲は下線部分です。

11. that meets these desires

- * 「that」は前の言葉を受けて「主役」を代行しています。
- * 「these」は一人ではなにもできないサポーターです。

12.

Consumers see that adequate software is available for the computer.

- * 「that」以下がひとかたまりで「see」の「相手役」を勤めています。

13.

Making electronic information as handy as paper requires an interaction model. Making information requires a model.

- * ここでは「making」は「主役」におさまっていますが、元々は動詞(他動詞)なので「相手役」を必要としています。したがって「information」という働き掛けの「相手役」が居ないと文章になりません。
- * 「as handy as paper」は、どのように作るのかを具体的に説明して「making」をサポートしています。

14.

This can require a substantial investment of time.

- * 「can」、はここでは「可能」という意味ではなく、不確かな事実の表現に使われています。

15.

Some vehicles may include a device to clean the windshield wiper blades. The vehicles include a device.

- * 「include 含む」かどうか、断定的に述べるには少し躊躇があるので、「may」という助っ人を呼んできます。(ワイパーを持たない自動車もあるかも知れない?)
- * 「some」は、「vehicle」のサポーターです。あらゆる自動車について述べているわけでは無いことを示しています。
- * 「to clean」は、元々の動詞が変身して「不定詞」の形を取り、何に使われる「device」かを説明してサポートしています。
- * 「windshield wiper blades」は、元動詞の「clean」の「相手役」を勤めています。
- * 「a」「the」は、厳密に言えばその後ろの名詞の姿を特定するサポーターです。もちろん丸で囲んでも誤りではありません。

こんな解説要らないよ、全部わかっているという方は、すぐにアドバンスコースに移って頂いた方が良くかもしれませんが、まだまだ奥があるので、このままこのコースを続けてみてください。

コースを本格的に始めるにあたって

英語の基本構成

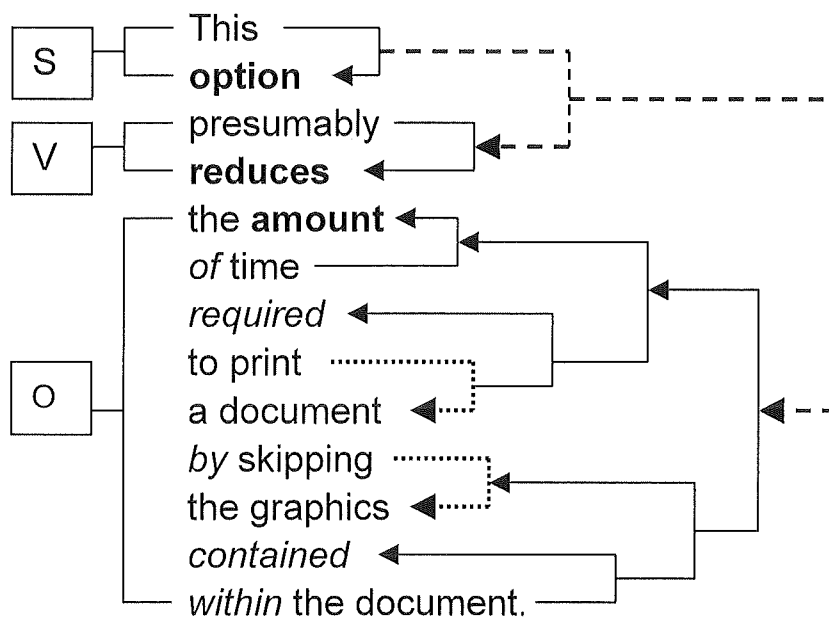
1. 英語は最大、三つのモジュールで成り立っています。
「Sのモジュール」「Vのモジュール」「Oのモジュール」
2. 各モジュールは、「キープレイヤー」とその「サポーター」で構成されています。
これだけです。

例文表記の原則

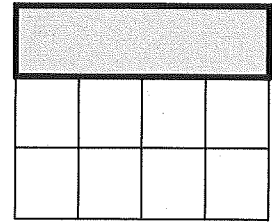
これからのコースで示されている例文は、以下の原則で表記されています。

1. モジュールに分け、縦に並べる。
2. 大きなモジュールは、サブモジュールに分ける。
3. 学習上必要な場合は、キープレイヤーとサポーター、サブプレイヤーとサポーター、あるいはサポーターとサポーターの関係を示すために、更に細かく分ける。
4. サポートの関係は矢印「————▶」で示す。* 矢印の先がサポートの相手です。サポーターはキープレイヤーの前にいる場合と、後ろにいる場合があります。
5. モジュール間の流れは矢印「-----▶」で示す。
6. サポーターであるが、元々動詞であるので「相手役」を持っているものは、矢印「.....▶」で示す。
7. 各モジュールの「キープレイヤー」は太字(ボールド)で示す。
8. サポーターの「入門証」(前置詞など)や元動詞の分詞形として直接(入門証無しで)サポートしているものは斜字(イタリック)で示す。

(例)



—「主役のモジュール＝Sのモジュール」—



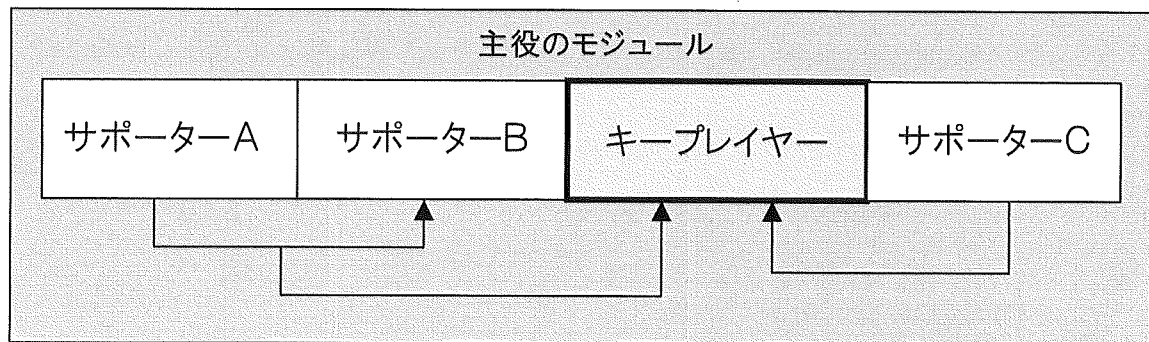
1. 主役：人物、概念、事柄

いくつもの単語で「主役」が成り立っているのも珍しくありません。これは、本当の主役(キープレイヤー)と、そのキープレイヤーの役割や姿をより具体的に表す仕事をしているサポーター達の集まりです。サポーターは、キープレイヤーの前に居る場合もあれば、後ろにくっついている場合もあります。具体的な説明役、すなわちサポーターは後ろに控えるのが原則ですが、英語の場合は前に位置している場合も多く見かけられます。

このキープレイヤーとサポーター達の集まりを、全員で主役を演じている「主役モジュール＝Sのモジュール」と呼ぶことにします。

長い「主役モジュール」の場合には、素早くキープレイヤー(本当の主役＝ボス中のボス＝ゴッドファーザー)を見つけ出すことが重要です。

「主役のモジュール」の概念図

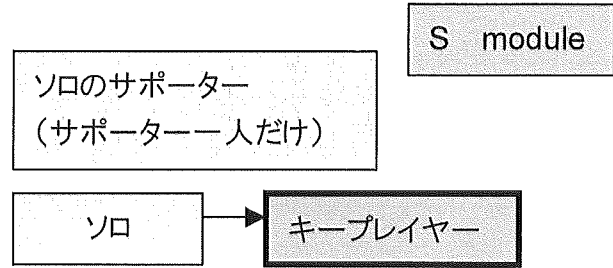


それでは、この「主役モジュール」を、いくつか文例を眺めて、確認して行くことにします。

- * 実線の矢印「→」はこの「主役モジュール」のサポーターからキープレイヤーへのサポートの関係を示しています。主役のモジュール内の関係に留意するために太い線をここでは使っています。
- * 太い破線の矢印「-▶」は、主役と「つなぐ-状態-働き掛け役」の関係を示しています。「主役」が扮装してもう一度出てくる場合は(第2章)方向は無く(イコールの関係)、この場合「主役の状態を説明する役」は「主役」のサポーターの如き存在ですから、主役から出た矢印は再度「主役」に帰って行くことになります。(この章ではまだ気にしないでください)
- * 細い破線の矢印「……▶」は元動詞が分詞に変身したが「働き掛け」の役割を失わずに保持している場合に「相手役」へ向けての動きを示しています。(この章ではまだ気にしないでください)
- * キープレイヤー(主役の中の主役)を太字で示してあります。また、主役のモジュールの範囲は下線で示されています。

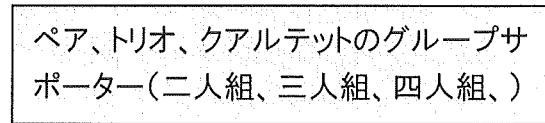
1.

adequate
software
 is available
 適切なソフトウェア／入手可能(である)
 *「adequate」は文法でいう形容詞です。
 英語の場合には名詞の前に位置してサポートするのが一般的です。



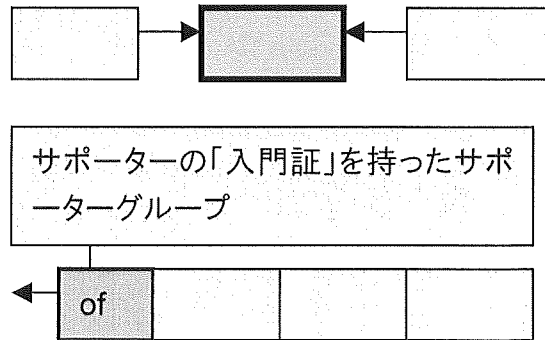
2.

One
advantage
of the invention
 is
 一つの利点／本発明(の)／は



3.

Sales
of such
new
computers
 will often be sluggish.
 販売／そのような新しいコンピュータ(の)／しばしば伸び悩むだろう



後ろから戻っている矢印は、この後第3章で確認します。ここでは気にしないでください

4.

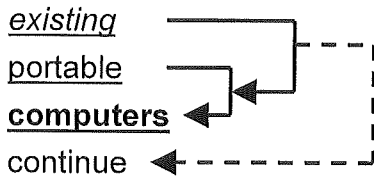
designers
of new
microprocessors
 sometimes attempt

* 「of」はサポートするキープレイヤーに接触するためのサポーターの「入門証」のようなものです。単なる印ですからこれ自体は文章内容上の意味は持っていません。

5.

animated
images
 are able to
 動画化された／画像／は／可能である
 *「animated」は元々は動詞で、分詞形となって形容詞に変身して「images」をサポートしています。

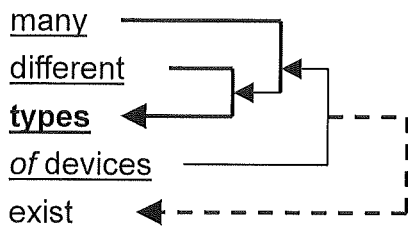
6.



既存(の)／携帯型／コンピュータ(は)／継続する

- * 「existing」も前の例文(5)と同じく、動詞が形容詞に変身して(現在分詞の形)「computers」をサポートしています。
- * 「computers」のサポーターはここでは二人(ペアを組んでいる)います。「portable」の方が、より密着したサポーターで、ほとんどキープレイヤーと一身同体になっています。

7.

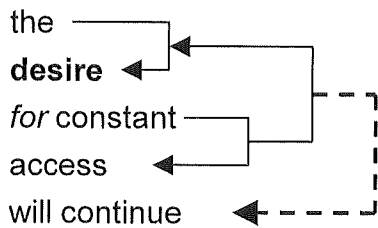


of	
もっとも多く使われる入門証	サポーター

多くの／異なる／タイプ／装置(の)／存在する

- * 「of」などの「入門証」を持っているのはサポーターの印ですから、キープレイヤーを見分ける上で一つの目安になります。

8.



キープレイヤーの性格や意味	それに対応した入門証を用意する of for
---------------	------------------------------

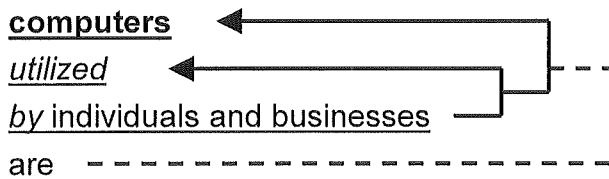
要望／継続的なアクセス(への)／続くだらう

- * 「for」も「入門証」です。キープレイヤーの「desire」という言葉が持つ意味から「for」が使われています。
- * 「constant」は「access」のサポーターです。グループとなってキープレイヤー「desire」をサポートしています。

a, the もサポーターです	
a the	名詞

9.

S module

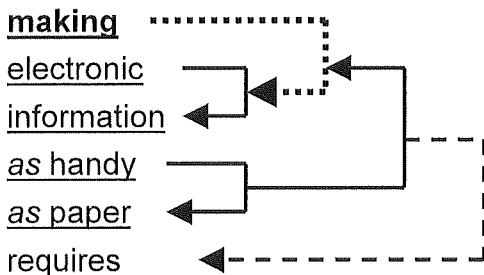


元動詞が落ちぶれて(?)
サポーターに

コンピュータ／利用される／個人で／および業務で／は／

- * 「入門証」が無くては主役をサポートできる言葉があります。先の例文(5, 6)でも出て来たように、元々が動詞で、文法上、分詞と呼ばれている形に変身したものがそれです：不定詞(to)、現在分子(ing)、過去分詞(ed)。このグループは前のキープレイヤーを後ろからもサポートすることができます。常に後ろからサポートするロマンス語系に似ていて、ちょっと格好いい使い方なので、気にしておいてください。
- * 「utilized」はここでは原型が受動態から出てきているので、「by」という印を持ったグループでサポートされています。これを動詞の過去形と誤解して“コンピュータは利用した”などと読まないようにしてください。この文章の場合すぐ後ろに「by」を持ったサポーターが引っ付いていますから、間違えることは先ず無いでしょうが。
- * ここまでの例文で「イタリック／斜字」で示されているのは、「入門証」と、このような元動詞の変身グループです。元々サポートするのが役目の形容詞にはなにもマークはつけてありません。

10.



元動詞であるが、変身して名詞になり、今や主役の座に収まっている。しかし、昔の癖が忘れられず、相手役を必要としている

作ること／電子情報を／できるだけ手軽に扱えるように／紙のように／必要とする

- * サポーターの種類も様々です。全体として「主役」をサポートしていますが、内部ではそれぞれ異なる役割を持っています。
- * 「electronic information」は、「making」というここではキープレイヤーの座に収まっている元々は動詞の「相手役」です。「electronic」は「information」のサポーターです。
- * 「as handy as paper」はどの様に「making」するのかを具体的に表しているサポーターです。
- * しかし、煩わしいので、とりあえずは、先ずキープレイヤーを見つけ出し、残りは全員そのサポーターであると、ひとまとめにして眺めてください。

次ぎの練習問題にチャレンジしてください。

練習(第2回): ゴッドファーザー(主役の中の主役)を見つける

ここまでの例文にならって、「主役モジュール」部分に下線を引き、
その中のキープレイヤー(ボス中のボス)を丸で囲ってください。
解答と解説は次のページにあります。

S module

11.

wearable computers have become available

装着可能な／コンピュータ／入手可能に(以前から)なっている

12.

the emergency call system contains

緊急／通報／システム(は)／含む

13.

a disadvantage of this system, however, is

不利な点／このシステム(の)／／しかしながら／／は／

14.

documents, the primary form in which people obtain and produce information, are

文書／／根源的形態／(そこで)／人々が入手し生み出す／情報(を)／／は／

15.

the distance between the main landing gear and nose landing gear becomes greater.

距離／間の／主降着装置と／機首降着装置(の)／更に広がっている

16.

large airplane maneuvering becomes

大型／航空機(の)／操縦(は)／なっている

17.

maneuvering large airplanes is difficult

操縦すること／大型の／航空機(を)／(は)難しい

18.

an airplane's landing gear are located

航空機の／降着装置／(は)配置されている

19.

another example of a device to clean and/or de-ice the wiper blades is

その他の／例／装置(の)／清掃する(ための)／及びあるいは／氷を溶かす(ための)／ワイパー刃／(は)

20.

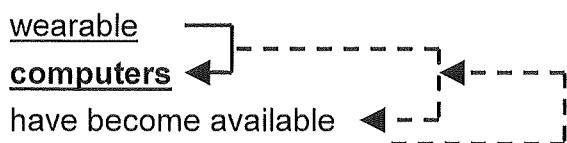
an important integral part of the emergency call system according to the invention are

重要にして／不可欠の／部分／緊急通報システムの／本発明によれば／(は)

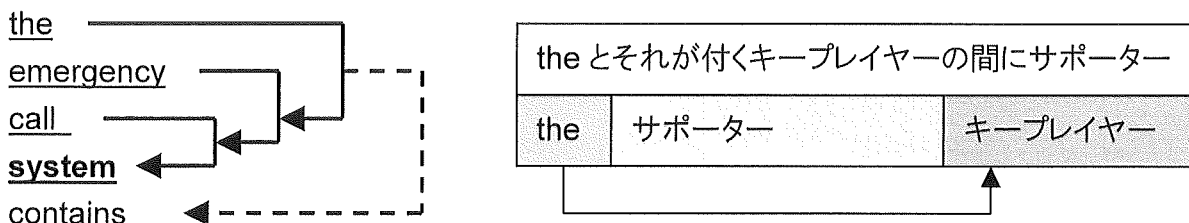
「／／」はコンマで区切られている部分を示しています

(第2回)解答

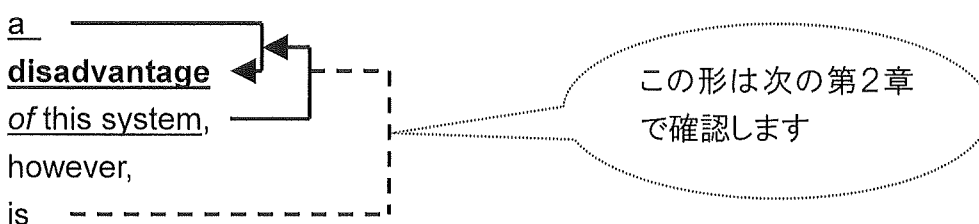
11.



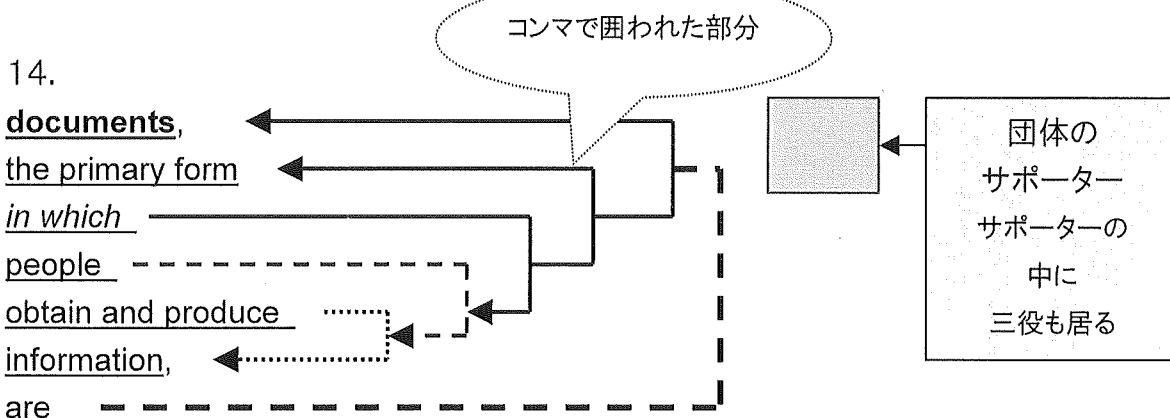
12.



13.

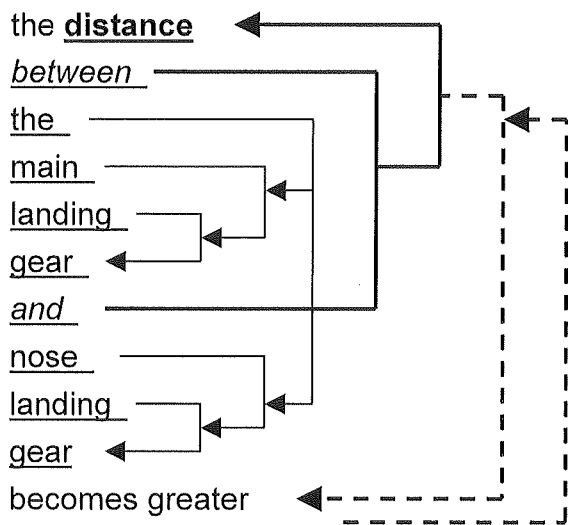


* 「howeverしかしながら」は、主役モジュールの一員ではありません。この文章全体をサポートしている特殊なサポーターです。普通は文章の頭に置かれることが多いのですが、コンマで区切れば、モジュールとモジュールの間に挿入できます。

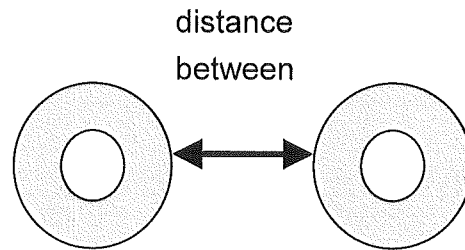


* コンマで区切られた全体で「document」をサポートしています。この中にはサポーターの主役も働き掛け役も相手役もいる、一つの完結したサポート軍団を形成しています。
 * そのサポート軍団の内部では「in which」は「form」を代行しており、以下で「primary form」をサポートしている関係になっています。

15.

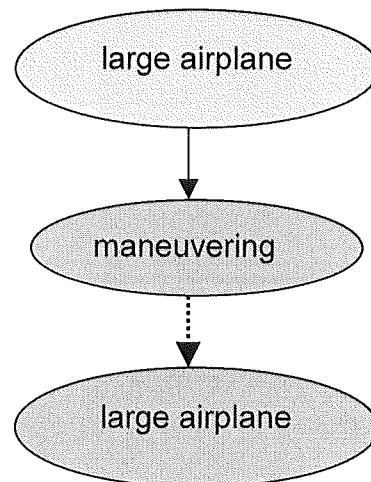
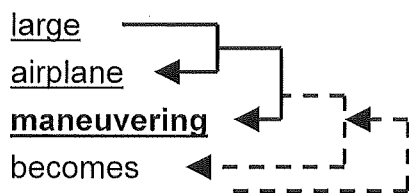


S module



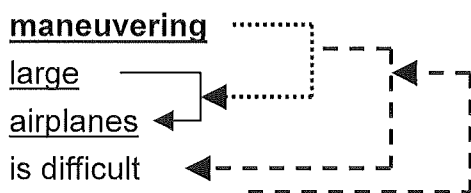
- * 「between」という「入門証」を持って、どこどここの間の距離なのかを説明しています。
- * 先ず抽象的に述べる、という原則を思い出してください。日本語ではこのような述べ方は絶対にできません。このような述べ方を可能にしているのが動詞の変身形や、特にここまでも出て来た「of, for, by, between」等のサポーターの「入門証」の存在です。便利な「証明証」です。

16.



*

17.

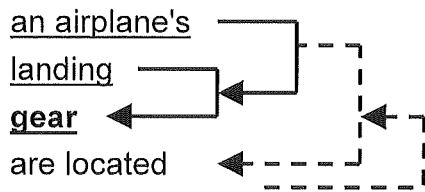


*

- * 「maneuvering」がキープレイヤーである証拠は、be 動詞を見ればわかります。「is」となっていますから、複数形で述べられている「airplanes」がキープレイヤーではありません。
- * この「maneuvering」は、ここでは元動詞として「相手役」を持っています。

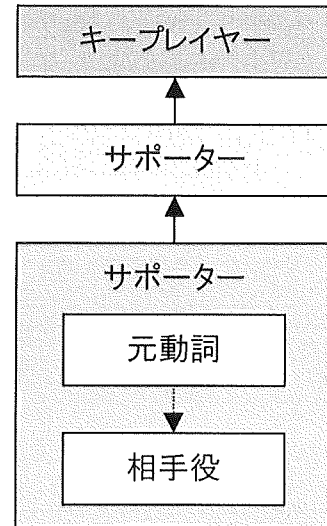
18.

S module

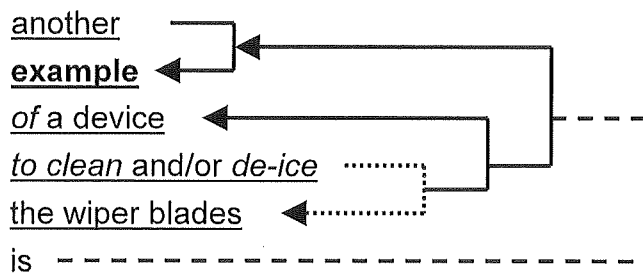


* 「landing gear」降着装置全体でキープレイヤーと見なし
て良いのですが、厳密に言うと landing は gear のサポ
ーターです。

サポーターの
サポーターが居る



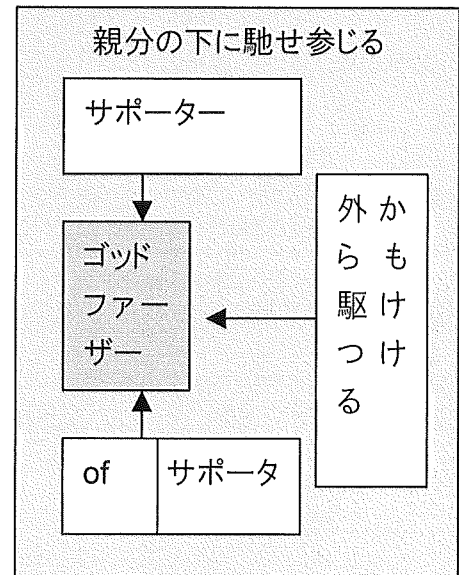
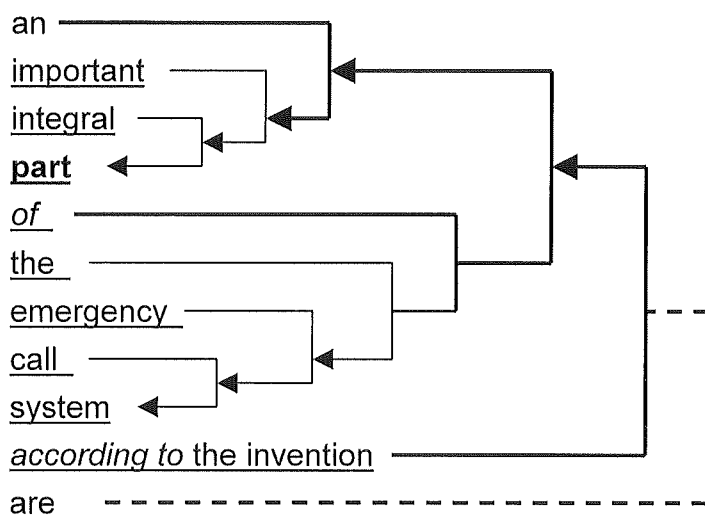
19.



* 長い主役モジュールです。「to clean and/or (to) de-ice」は元が動詞ですから「the wiper blades」が
働きかけの相手役となります。このような働きをするものとして全体で「device」を具体的に説明してサ
ポートしています。

* 分詞(不定詞)として直接、前の名詞に引っ付いてサポートできます。

20.



* サポーター全員で「integral part」をサポートしています。その中の「part」が厳密に言うとキープレイヤー
となります。なお、主役が単数なのになぜ「are」か、おかしいのですが、原文はこの後扮装した主役が
複数です。(次ぎの章の学習対象です)

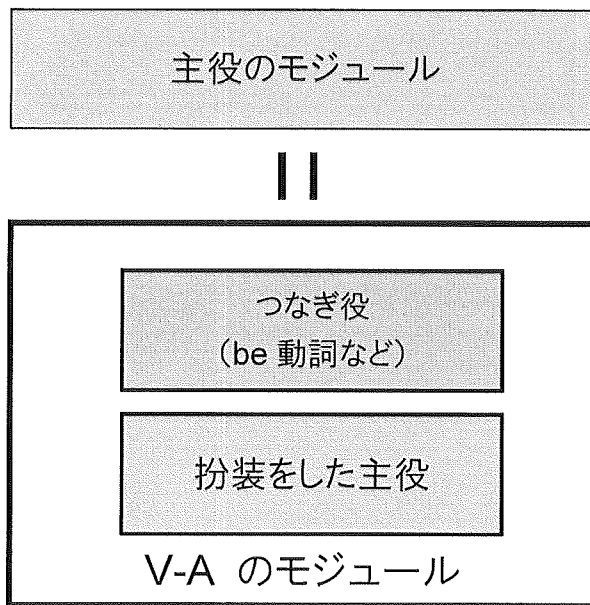
* 「according to」はこのサポーターグループ全体に他所から駆けつけた形です。

—「扮装した主役のモジュール＝V－Aのモジュール」—

2. 主役が再度登場する

「主役」が扮装をして再度登場するというケースがあります。その間の「つなぎ役」として、「be 動詞」(am, are, is, was, were, been)が主に使われます。

■			
■			



I am the great man. 「俺様は偉大な男だ」、と言えばスツピンの「俺様」が「偉大な男」として再登場する感じです。中身(本質)は変わらないので主役は一人だけです。

be 動詞は単なる「つなぎ役」なので、文章の内容上の意味はありません。舞台の黒子のような存在です。主役の本質は変わらないわけですから、先に出てくる主役と後から出てくる扮装した主役の関係はイコールであると言う事もできます。その意味では be 動詞は、イコール記号と見なしても良いのかも知れません。

「主役のモジュール」については、既に確認してきました。

「扮装をした主役」もキープレイヤーとサポーターが集まっているモジュールとなります。

文章の基本形としては「A」タイプになります。その意味で「V－Aのモジュール」と呼んでいます。

以下、幾つかの文例でこの基本形を見ます。

* 先ずは、太字の部分のみに注目してください。

* 扮装して再度登場した主役の部分には下線を付してあります。

同じ者が違う装いで出てくる

別の分野から、或いは角度から、別の言い方で述べています。

1.

Computers ←
utilized by individuals and businesses ————
are - - - - -
stand-alone ←
devices ←
which are generally permanently placed ————
on a desk top, table top, or other support surface. ————

Computers are devices.

コンピュータ／個人および業務で使われる／は／スタンドアローン装置(である)／(それは)／一般的に／恒常的に／置かれる／机の上に／テーブルの上に／あるいは／その他の支える表面の上に

* ここでは「コンピュータ」と「装置」は同じものです。

* 扮装した主役として、具体的にあれこれ説明しています。

* スタンドアローン: コンピュータ用語で、ネットワークにつながれていない独立して使われるもの

2.

Now, ←
as in the past, ————
a computer system's **job** - - - - -
is - - - - -
to access, manipulate, and store
information. ←.....

このグループは、ステージ(第7章参照)全体のサポートに呼ばれた者です

今も／昔と同じように／コンピュータシステムの仕事／は／アクセスする、編集する／(そして)蓄積すること／情報(を)

* 「manipulate」と「store」の「to」は省かれています。

* この3つは、ここでは名詞に変身していますが、元動詞として相手役「information」を持っています。

3.

The Internet, ←
also referred to as an "internetwork", ————
is - - - - -
a set of computer networks. - - - - -

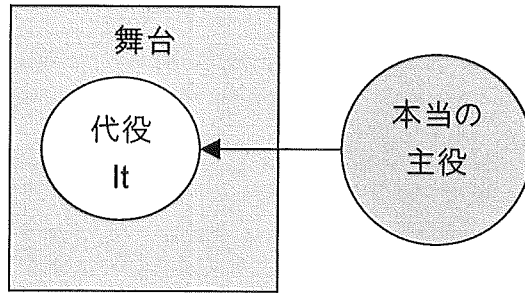
インターネットはセットである。何の? コンピュータネットワークの

インターネット／／とも言われている／「インターネットワーク」／／は／セットである／コンピュータネットワークの

主役が「代役」を立てている場合

4.

It -----
is -----
the -----
fastest -----
growing -----
network. -----



(それ)／は／最も急速に成長しているネットワーク(である)

- * 「It」はキープレイヤーである「network」の先触れとして幕開け(文の先頭)に登場する形です。代役ですからセリフはありません。文法上で「代名詞」と分類されている言葉です。
- * 内容からみると、ここでは、扮装した「主役」が実はスツピンの主役です。もったいぶって、代役を先ず出しておいて、その後おもむろに登場してきた感じです。

5.

it -----
is -----
an objective -----
to improve -----
the design. -----

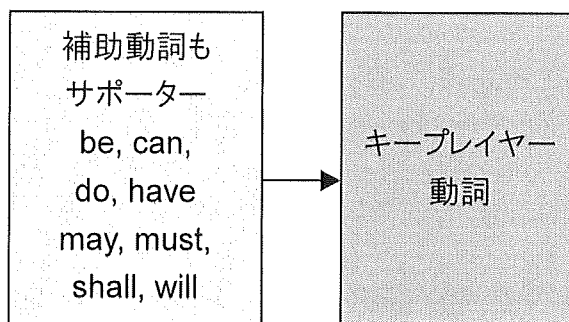
これは代役が居る印
 です。objective が本
 物のキープレイヤー
 です。

(それ)／は／目的(である)／改良すること／設計(を)

- * 「to improve」は元々は動詞で、改良する相手「design」に働き掛けています。そしてグループで後ろからキープレイヤーの「objective」をサポートしています。

6.

These -----
can be -----
desktop -----
or -----
hand held -----
scanners. -----



(それら)／(は)ありうる／机上用あるいは手持ち用スキャナ／

- * こでも代役を先に立てています。
- * 断定するには躊躇があるので、「can」を用いて少しあいまいに述べています。「can」は be 動詞の意味を追加或いは補助する文法]でいう「補助動詞」です。単なるつなぎ役の be 動詞ですが、このように助っ人を頼むことで、主役と扮装した主役の間柄を微妙に表現する事もしています。

元動詞の分詞が「扮装した主役」を演じている場合

7.

The **object** ←
of the invention ←
is ←
to specify ←
an emergency call system. ←

目的／本発明の／は／明確に規定すること(にある)／緊急通報システム(を)

* 「specify」は元が動詞(ここでは不定詞に変身して名詞の働きをしている)ですから働き掛けの相手を持っています。その相手を含めて全体で「扮装した主役のモジュール」を形成しています。

「that」以下が扮装した主役モジュールの場合

8.

One **advantage** ←
of the invention ←
is ←
that ←
animated images ←
are able to be ←
more efficiently and rapidly ←
transmitted. ←

この受動態の形は次の章で確認します

／動画化された／画像(は)／されうる／より効率的に／高速に／転送(を)

* 「that」以下は一つの完結した文章になっています。「that」は、これ以下は一つのまとまった集団ですよと、宣言している旗印です。

9.

A **disadvantage** of this system ←
is ←
that, ←
in the event of a collision, ←
the emergency call device ←
can become damaged ←
and ←
is ←
therefore ←
sometimes inoperable. ←

不利な点

||

損傷を受ける

そうすると動かなくなる

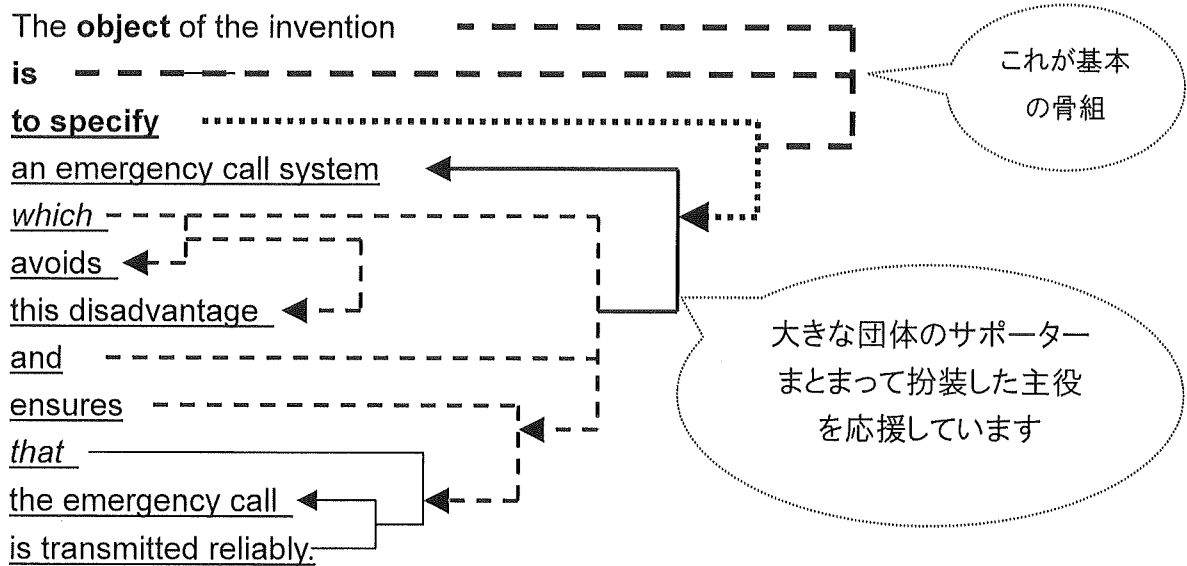
不利な点／このシステムの／は／衝突したとき／緊急通報装置(は)／損傷を受けうる／それゆえ／作動できなくなる

(参考)

以下の章への序幕

この章で確認した主役が再登場する文型の基本構造は極めて単純ですが、扮装した主役の様態を長々と説明していく場合があります。あまり長いので読むときに嫌気が差しそうですが、分解するとそれほど複雑な構造ではないことがわかります。

10.



この発明の目的／は／明確に規定すること／緊急通報装置(を)／(それは)／避ける／この不利な点(を)／そして／確かなものにする／緊急通報(が)／確実に伝えられる(ように)

- * 例文(7)の全文です。
- * 扮装した主役の中にサポーター群が重なっています。
- * 「which」はその直前の「system」の代役で、「avoid」と「ensure」の二つの働き掛けの主役を代行しています。以下全体で「system」のサポーターを務めています。
- * 「that」以下はサポーターではなく、「ensures」の「相手役」です。もちろん、「ensures」の主役は「which」ですから、全体として扮装した主役のキープレイヤー「to specify」のサポーターを務めています。これはこのコースの後半で確認していきます。

英語の記述は、「はじめに」で述べましたように、先ず一般的に述べ、次いでその具体的説明、更にその詳細説明と続いています。これをサポートしている関係を矢印で示すと、ここまでの例文図でわかるように、下から上へ積み上げられて行く形になります。

練習(第3回): 扮装した主役を見分ける

V-A module

以下の例文の中から「扮装した主役のモジュール」を探し出し、
下線を引いてください。その中からキープレイヤーを特定して丸で囲ってください。
解答は次ぎのページにあります。

11.

An important point to notice about the issue of hardcopy output versus softcopy output is that the proliferation of electronic publishing has not decreased the use of paper and printers.

12.

Currently, the most commonly employed method of transferring data over the Internet is to employ the World Wide Web environment, also called simply "the Web".

13.

A browser is a program capable of submitting a request for information identified by an identifier, such as, for example, a URL.

14.

The goal of the present invention is to allow users to collect and evaluate information from multiple sources, and thus make proper use of all available location information.

15.

The solution is to make proper use of all available location information, by first collecting and then evaluating information from multiple sources.

16.

One aspect of the present invention is a method for handling location information.

17.

Another aspect of the present invention is a system for executing the method of the present invention.

(第3回)解答

V-A module

11.

An important point to notice about the issue of hardcopy output versus softcopy output is that the proliferation of electronic publishing has not decreased the use of paper and printers.

12.

Currently, the most commonly employed method of transferring data over the Internet is to employ the World Wide Web environment, also called simply "the Web".

13.

A browser is a program capable of submitting a request for information identified by an identifier, such as, for example, a URL.

14.

The goal of the present invention is to allow users to collect and evaluate information from multiple sources, and thus make proper use of all available location information.

* キープレイヤーは意味から言えば「to allow users」も正解とすべきでしょう。

15.

The solution is to make proper use of all available location information, by first collecting and then evaluating information from multiple sources.

* 上の例文(14)と同じく、意味からいえば「to make proper use」をキープレイヤーとしても良いと思われます。

* 「by first」以下もこのモジュールのサポーターです。

16.

One aspect of the present invention is a method for handling location information.

17.

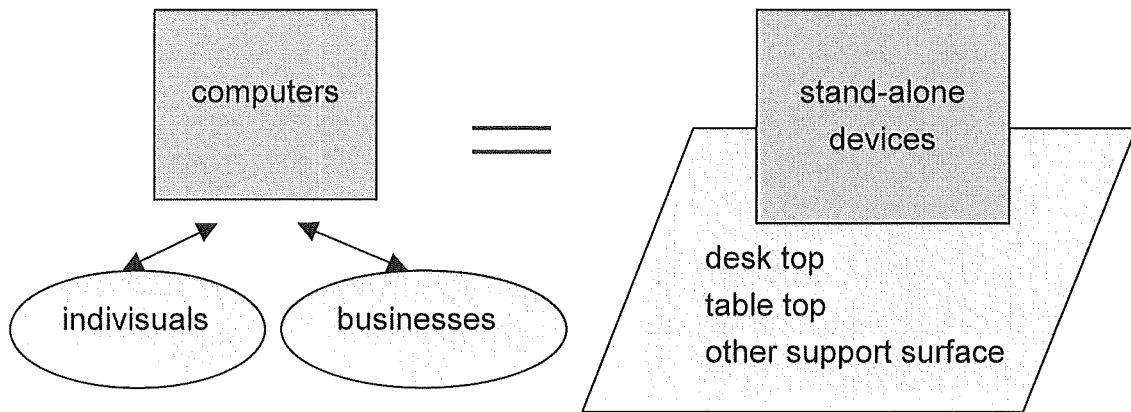
Another aspect of the present invention is a system for executing the method of the present invention.

練習： 場面をイメージして読む(1)

場面をイメージしながら文章を読むサンプルを示します。もちろんこれは一つの例に過ぎません。

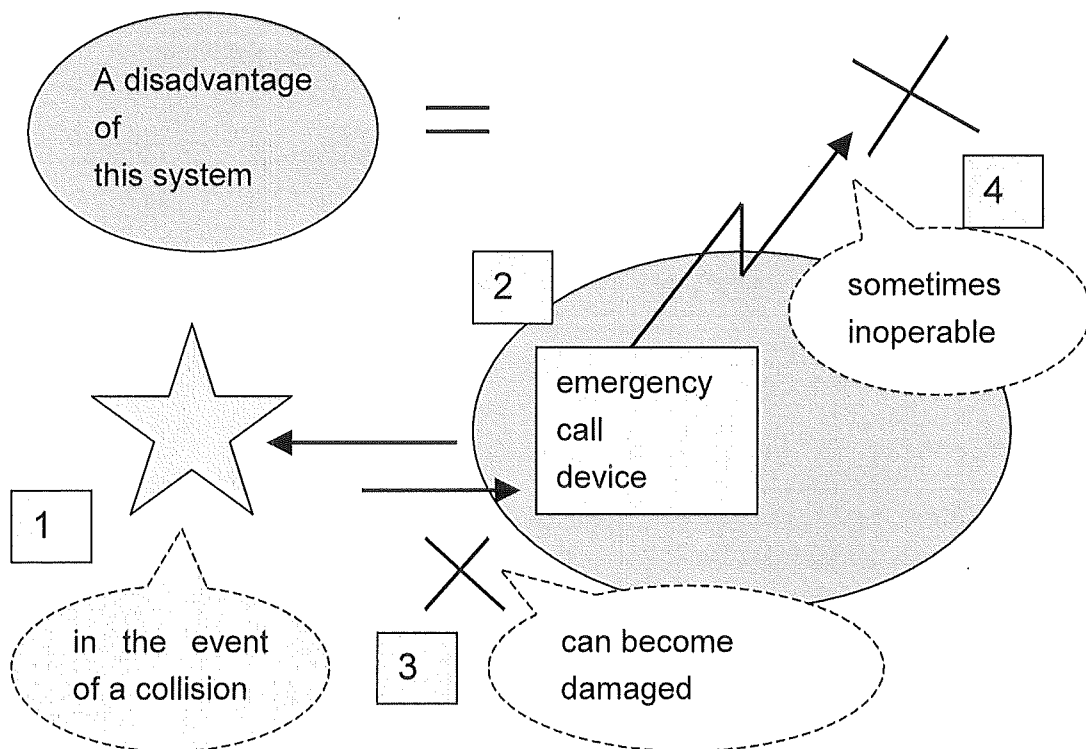
例文(1)

Computers utilized by individuals and businesses are stand-alone devices which are generally permanently placed on a desk top, table top, or other support surface.



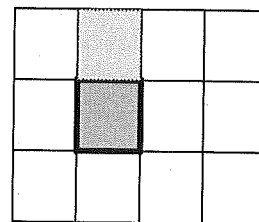
例文(9)

A disadvantage of this system is that, in the event of a collision, the emergency call device can become damaged and is therefore sometimes inoperable.

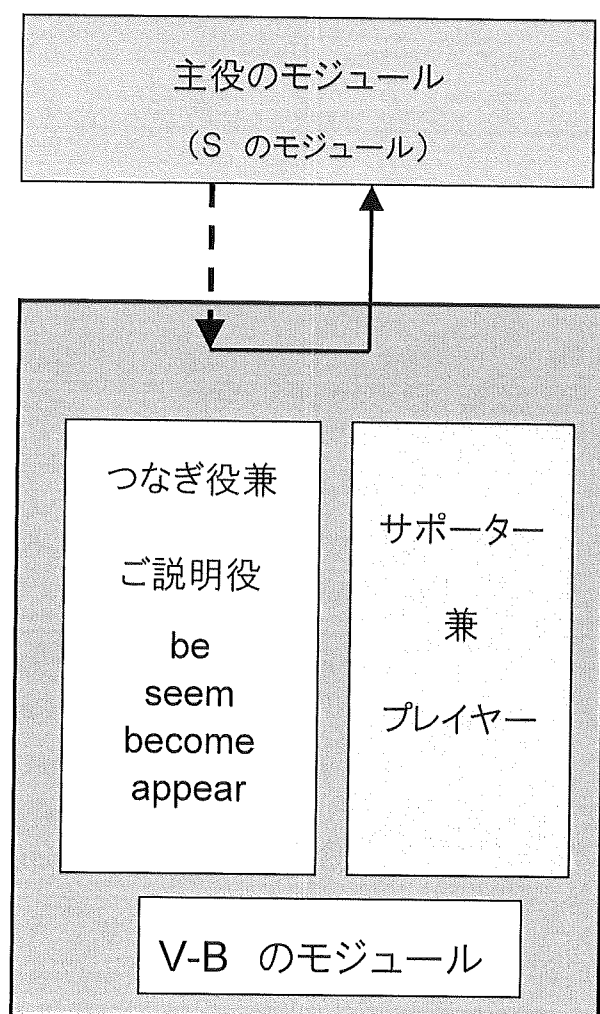


—「V-B のモジュール」—

3. 主役の状態を説明する



主役の状態などを、主役に代わってご説明申し上げる、内閣の報道官のような役割、或いは主役のメーキャップを担当している係りがいます。この集団をまとめて「主役の状態説明のモジュール=V-B のモジュール」と呼ぶことにします。



このモジュールのキープレイヤーは、つなぎ役兼ご説明係りの「be 動詞」ですが、その他にもこの役目を担当できるプレイヤーが何人か居ます。ここでサポーターの特徴は、サポーターがいないとプレイが完結しないところにあります。つまりサポーター兼プレイヤーの役割を持っています。

キープレイヤーは、状態の具体的説明などを「つなぐ」役割と同時に自分でも状態の説明に参加している場合もあります。

She is beautiful. “「She」「beautiful」「彼女」「きれい」”だけでは、なんだか未開の島の人のお話し方のように収まりが良くないので、やはり間につなぎの「is」が入って様(サマ)になるわけです。

もっとも、このように誰が見ても「キレイ」と同意する場合は問題無いのですが、大統領の報道官のように、事を断定せずにあいまいに説明する場合も多いので、文章の形はシンプルですがキープレイヤーの動詞の使われ方が要注意です。

これに慣れると、報道官のように微妙な言いまわしができるようになるかもしれません。

以下、幾つか文例を眺めてこのモジュールに慣れるようにします。

この文型の記述順序は日本語と同じなので、抵抗感無く理解できるはずですよ。

* 動詞等のサポーターは、上でも述べたように、プレイヤーでもあり、動詞はこれと組みになってはじめて一人前の仕事ができる重要な役割なので太字で示してあります。

1.
adequate software
is
available
適切なソフトウェア／は／入手可能(である)

2.
services
are
available
サービス／は／受けられる

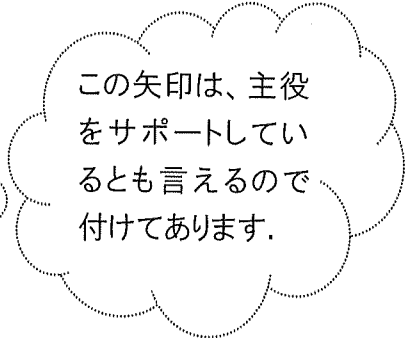
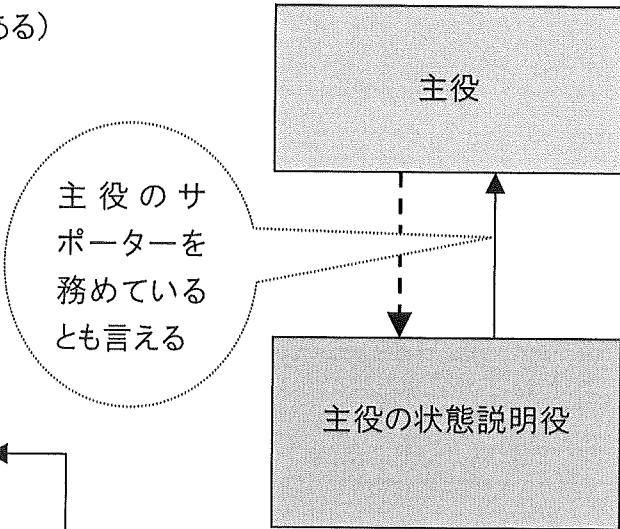
3.
maneuvering large airplanes
is
difficult
大型の航空機を操縦すること／は／難しい

4.
sales of such new computers
will
often
be
sluggish
販売／そのような新しいコンピュータの／は／しばしば停滞すること／になろう

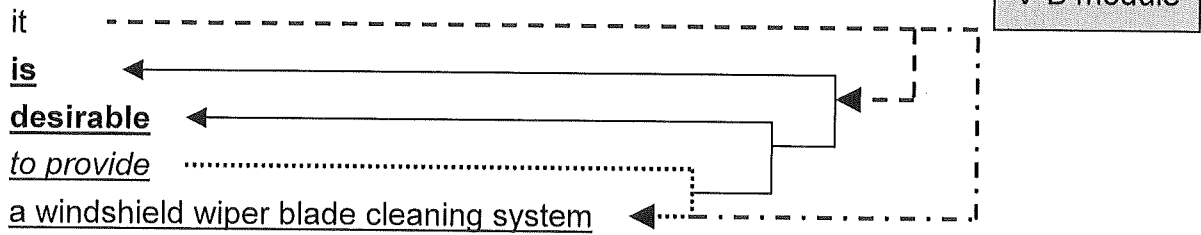
5.
Documents
are
most
familiar and manipulable
in the form of paper pages.

文書／は／最も慣れ親しんで、また扱いやすい／紙のページの形で

* ここまでに出てきた、「available, difficult, familiar」等の「プレイヤー兼サポーター」は、文法上では、「機能的目的語」とかBe動詞の「補語」とかに分類されていますが、頭が痛くなるので傍らに置きます。



6.



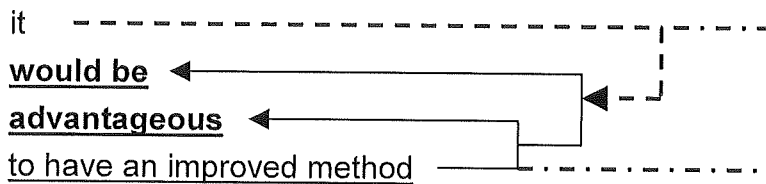
(それ)／は／望ましい／提供すること／窓ガラスワイパー清掃システム(を)

* 抽象的に、同時に意思も含めて先ず「望ましい」と書く(話す)やり方。日本語ではこのような言い方は無いので少し要注意です。

* 「to provide」以下が本当の主役です。To provide is desirable.

(参考:アドバンスコースに向けて)

7.

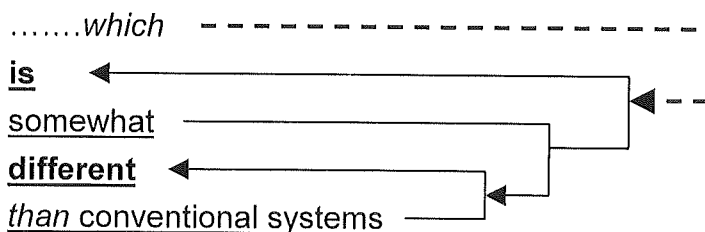


(それは)有利なことになる／改良された方法を持つ(ことは)

* 「to have ...」は 何をすれば有利「advantageous」なのか説明している形になっていますが、実際は「主役」で、To have an improved method would be advantageous.

* 「would be」は先に述べた微妙な曖昧な表現方法の一つ。「報道官」向きの道具です。例文(6)の「望ましい」とかここでの「有利だ」等は、断定するのが難しい事柄ですから、どうしてもこのように曖昧な表現が使われる場合が多いようです。

8.



(それ)／は／いささか異な^{って}／いる／通常^のシステムに較べて

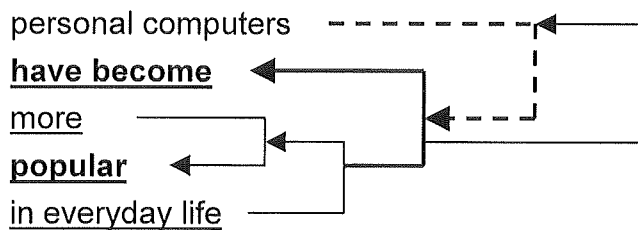
* 「which」はその前に登場している「主役」の代役です。この講座の後半で少し説明します。

* 「somewhat」は「different」の直接のサポーターです。

* 「than」はここでは「different」をサポートするための「入門証」です。

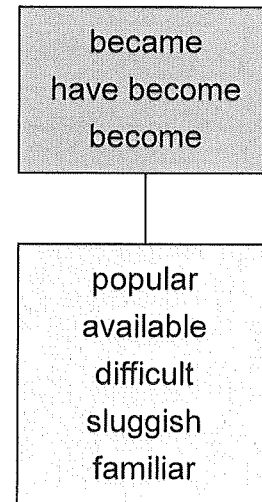
become を使って

9.

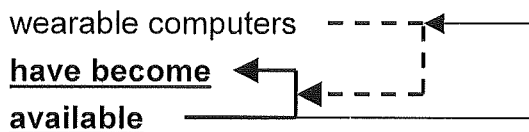


パーソナルコンピュータ／は／ますます当たり前になって
 きている／日々の生活において

このベーシックコースでは、時間の関係の説明は省いています。
 そのため、文例で出てきた場合に少し解説しておきます。これは
 文法で言う「現在完了形」です。今より以前に事が生じて、今現
 在もその状態が続いている場合に使われます。「現在完了」とい
 う訳語に惑わされがちですが、事は、今現在、決して「完了」し
 ていなくて、続いている、したがって多分これからも続くであろう状態
 です。



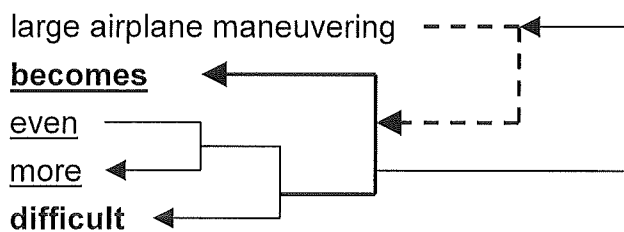
10.



装着型コンピュータ／が／実用になってきた

- * 「be」動詞が、静的な或いは恒常的な状態を表すのに対して、「become」は徐々にそのような状態にな
 ってきた、という感じの時間的な動きの意味がある場合に使われます。
- * “She is beautiful.” と言えば、誰もが、彼女は昔からきれいで、これからもきれいであり続けるだろうと判
 断するでしょう。“She becomes beautiful.” と言えば、今の彼女はきれいだ、その前はどうか、
 いささか?という感じがあります。さなぎが蝶に変身したのかもしれないし。

11.



大型航空機の操縦／は／以前にも増して更に難くなっている

- * 文例(3)で “maneuvering large airplanes is difficult” とありました。この場合は、大型
 のヒコーキを操縦するのは今も昔も変わらず難しいという「事実」を断定的に述べています。
 それに対して「become」を使うとますます難しくなってきたという時間的な動きが示せま
 ず。

主役の状態を表す受動態

V-B module

学校の英語の授業で、動詞には「能動態」と「受動態」の2種の形態がある、と習いました。受け身の受動態ではなく、「主役」の状態を説明するのにこの受動態の形が多く使われます。どのような使われ方かを、幾つかの例文で簡単に見ておきます。

「誰」によってそうなっているのか、その張本人が不明の場合は、だいたい、「主役」の状態の説明をしているものとして、この「主役の状態説明モジュール」の仲間に入れて良いと思います。

12.

Animated images
are able to be
more efficiently and rapidly
transmitted

アニメ画像(は)／より効率的に、高速に／転送される事が可能である

- * 誰が転送しているのか不明です。したがって、これは主役「images」の状態を述べていると見なします。
- * 「more efficiently and rapidly」は、動詞としての「transmit」の動き／状況を説明しているサポーターです。(文法でいう副詞です:動詞や形容詞を修飾する;すなわちサポートする役割)

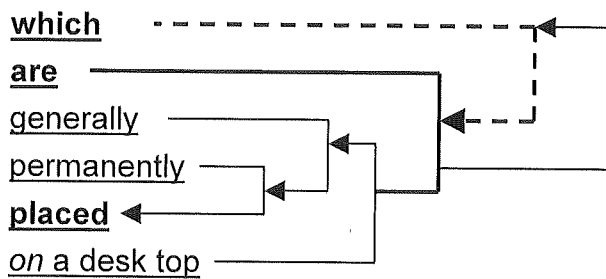
13.

Existing portable computers
continue to decrease
in size and weight,
but
are
still
designed
to be carried
like luggage.

既存の携帯コンピュータ(は)／継続して減らしている／寸法と重量を／しかし／まだ設計されている／持ち運ばれるべく／カバンのように

- * “設計されている”は、誰が設計したか不明です。したがって、これも主役「computers」の一般的な状態を説明しているものと見る事ができます。
- * 「to be carried “持ち運びされるように”」も受動態の形式です。これは「design」のサポーターです。後ほど「アクション」のサポーターで説明します。
- * 「computers」は主役として2回登場しています。先ず「continue」の主役で、ついで「are」の主役ですが、2回目の登場なのでお客にうるさがられるといけないので名乗り出ていません。

14.



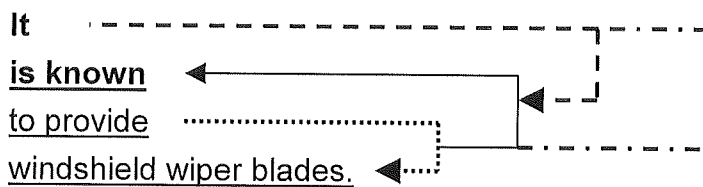
(それは)／通常恒久的に置かれている／机の上に

- * 誰が机の上に置いたのか. 特定の人ではないですね. 主役の一般的な状態の説明です.
- * 例文(16)と同じく、「generally」と「permanently」は「place」という動詞のサポーターです。間に「and」をいれるべきでしょうね。
- * 主役の状態を説明している「動詞 place」をサポートして、どこに?「on a desk top」にと更に詳細に説明するために加わっています。

(参考:アドバンスコースに向けて)

少し、ヤヤコシイ例文を挙げておきます。アドバンスコース用です。

15.

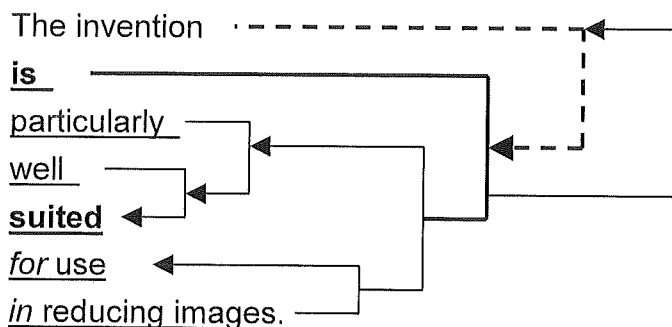


to provide の
 代名として
 「It」が先頭に

(それは)／知られている(誰もが知っている)／提供する事／窓ガラスワイパー刃(を)

- * これも公知の事実ですから、誰が提供したかは問題外です。
- * 「knew」は動詞として「to provide」と言う働き掛けの相手を持っています。
- * その「provide」も元動詞として“何を提供するのか”相手を持っています。少し難しいですね。

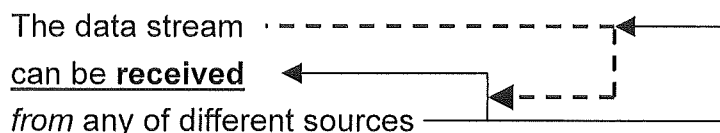
16.



本発明は／特にピッタリ(である)／用いるのに／画像を縮小するのに

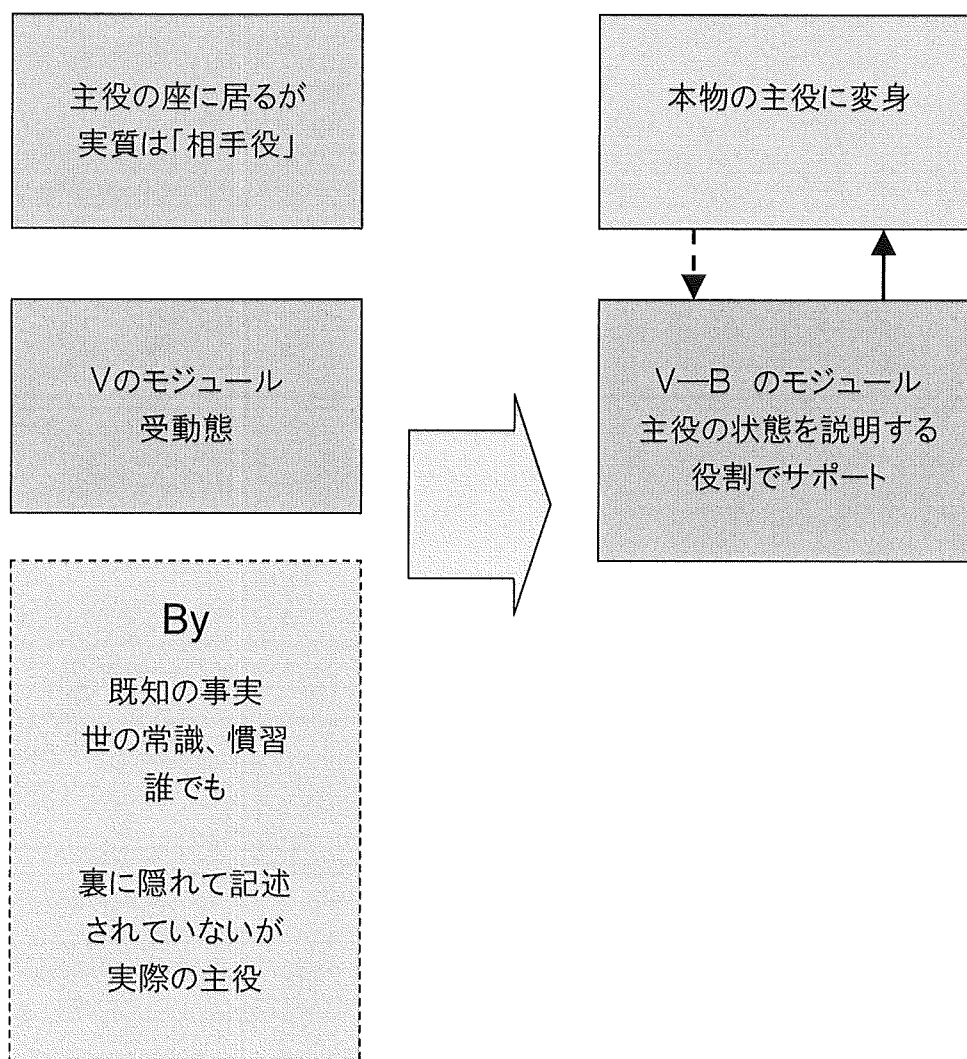
17.

V-B module

The data stream 
can be received
from any of different sources

データストリーム(は)／受けられることが可能(である)／どんな異なる資源からも

- * 「be 動詞」と「形容詞」の組み合わせだけでは十分に表現できない場合も多いと思われます。そこで、このように受け身の形で「主役」の様々な状態を説明することになるのでしょう。
- * このように、見たところ「受動態」の形ですが、これは動詞が分詞(過去分詞)の形をとって「形容詞」に変身して、つなぎ役の「be」動詞と組んで、「主役」の状態を説明していると見ても良いと思います。
- * このあたりのことは、どの様に表現する(書く／話す)―表現方法を真似るか―を考えながら、アドバンスコースの課題です。



練習(第4回): 主役の状態説明役を見つける

V-B module

ここまでの例文にならって、「be 動詞」、「become」をキープレイヤーとして、
また「受動態」の形で、「主役の状態を説明しているモジュール＝V-Bモジュール」に下線を
付してください。またサポーター兼プレイヤーを丸で囲んでください。

解答と解説は次ぎのページにあります。

18.

Emergency call device is sometimes inoperable.

緊急通報装置／は／時々使用不可になる

19.

These programs are difficult to create.

それらのプログラムは／難しい／作り出す(のが)

20.

the distance between the main landing gear and nose landing gear becomes greater

距離／間の／主降着装置と機首降着装置の／が／更に大きくなっている

21.

They have also become more indispensable.

それら／は／また、更に、不可欠の(もの)となって来た

22.

because most airports were constructed to handle smaller airplanes

それ故に／ほとんどの空港(が)／建設された／もっと小さな航空機を扱うように

23.

An airplane's landing gear are located beneath the fuselage or wings.

航空機の降着装置(は)／位置されている／胴体または翼の下に

24.

An active user might visit many Web sites per day, and it can be difficult to keep track of various web sites.

活発なユーザーは訪問するだろう／多くのウェブサイト(を)／1日あたり／／そして／(それ
は)／難しいだろう／(行動)軌跡を保持する(ことは)／様々なウェブの

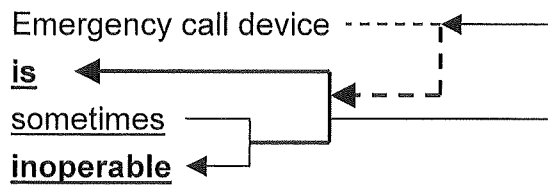
25.

The cost to print a color document is generally regarded as several cents per average page.

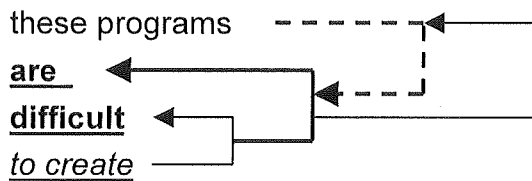
カラー文書を印刷する経費(は)／一般的に見られている／数セント(であると)／平均的なペ
ージあたり

(第4回)解答と解説

18.



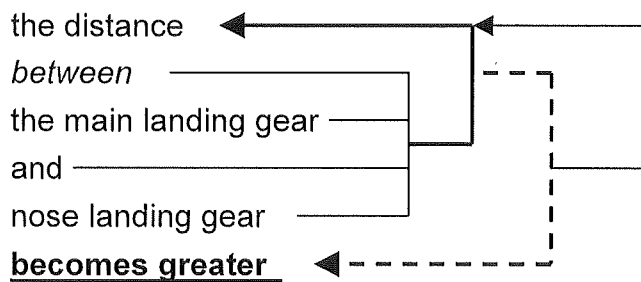
19.



* 良く使われる書き方です

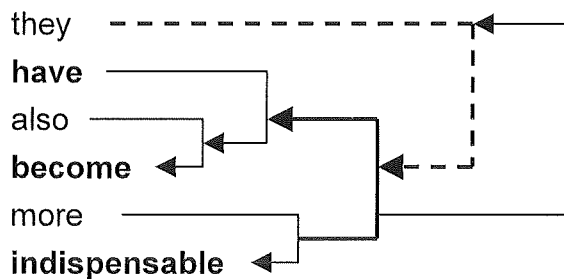
* 「to create」は「何が難しいのか」を説明しています。集まって主役の「programs」の状態を説明しているわけです。

20.



* この場合の「become」は、一般的に飛行機が大型化して、だんだん間が広がってきている、という意味です。

21.



22.

because _____
 most airports _____
were constructed _____
 to handle _____
smaller airplanes _____

- * 誰が空港を建設したか、空港の一般的な状態の説明ですから、「誰が」は問題にはなりません。
- * 「handle」は元は動詞として働き掛けの相手を持っています。
- * 「were」と過去形になっているのは、最近建設された空港は違うのだという認識があるからでしょう。

23.

an airplane's landing gear _____
are located _____
beneath _____
the fuselage or wings _____

- * これも一般的な事実ですから、誰がそのように設計したかは問題になりません
- * 「beneath」という「入門証」を持ってサポートしています。

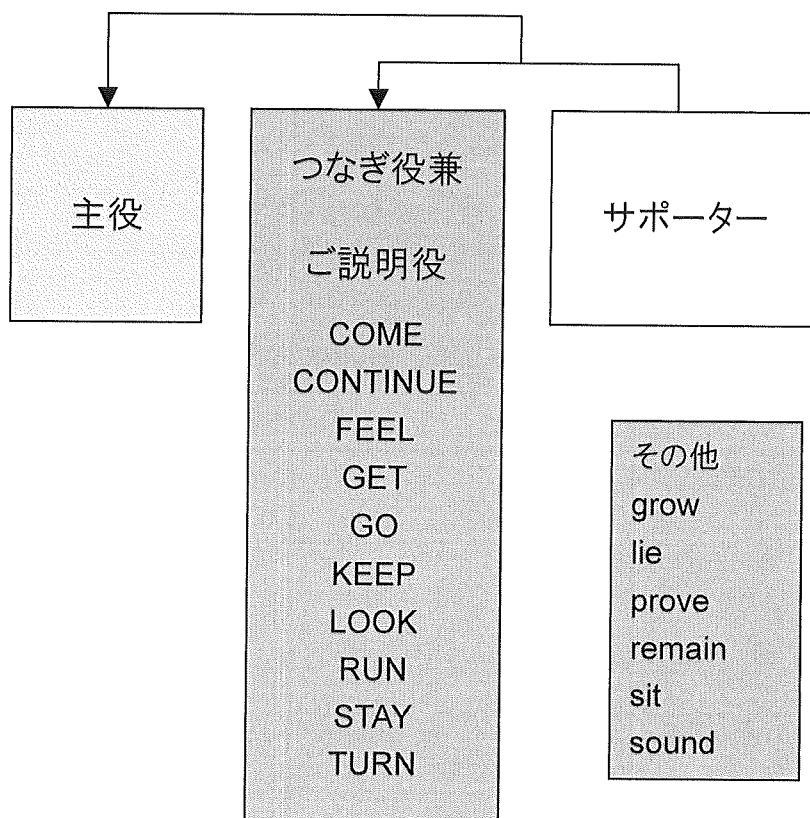
24.

An active user _____
 might visit _____
 many web sites per day, _____
 and _____
 it _____
can be difficult _____
to keep track _____
of various Web sites. _____

25.

The cost to print _____
 a color document _____
 is _____
 generally _____
regarded _____
 as several cents per average page. _____

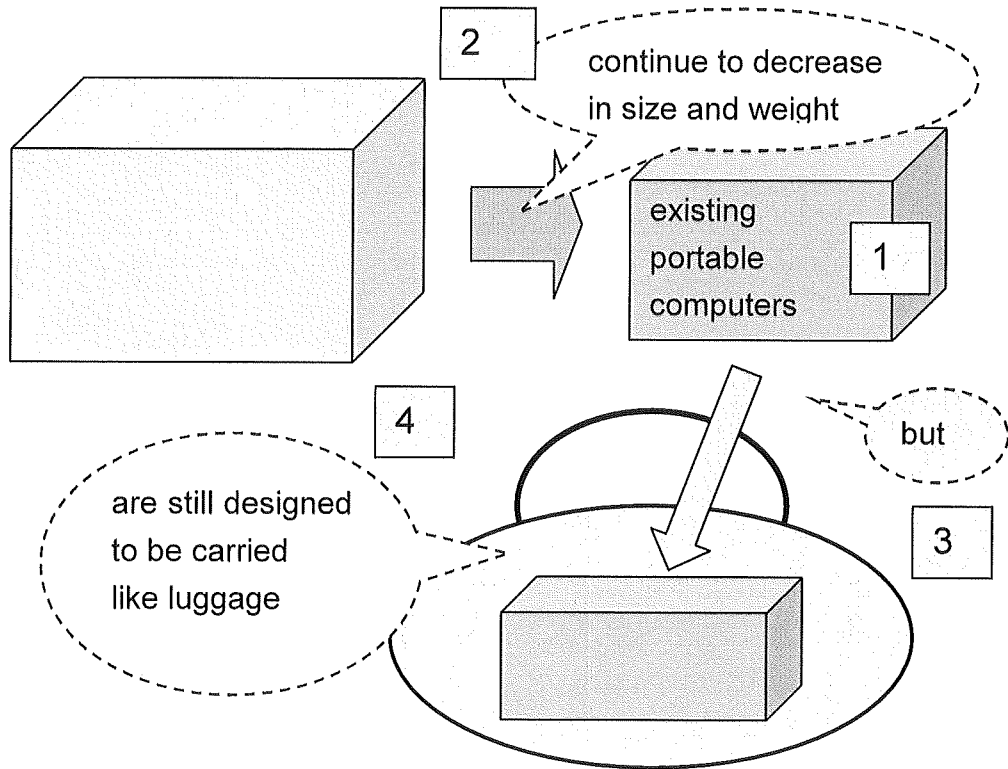
上の文例の他にも「つなぎ役」を兼ねながら、自分でも主役の状態を説明することができる一群がいます。先のグループと同じように通常はサポーターを伴い、一緒になって主役の状態を説明しています。この基礎講座の課題ではないので、どのようなものか、簡単な例文だけあげておきます。



主役	つなぎ役兼 状態説明役	サポーター兼 プレイヤー
That	will come	true.
The weather	continued	warm.
I	feel	very sad.
They	get	weary.
He	goes	mad.
She	keeps	happy.
You	look	happy.
The boy	run	wild.
She	stayed	rigid.
The weather	has turned	fine.

例文(13)

Existing portable computers continue to decrease in size and weight, but are still designed to be carried like luggage.



例文(24)

An active user might visit many Web sites per day, and it can be difficult to keep track of various web sites.

